

精華町の環境（素案）

令和 3 年度(2021 年度)

令和〇年〇月

精華町 健康福祉環境部 環境推進課

■はじめに

第2次精華町環境基本計画は、「精華町環境基本条例」に基づき、令和3年（2021年）に策定しました。

本報告書は、条例に掲げる基本理念の実現を目指し、住民、事業者、行政などすべての参画と協働のもと、環境に関する施策を総合的かつ計画的に推進するためにまとめたものです。

1. 目標像の進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・ P.2

第2次精華町環境基本計画の環境目標の進捗状況を紹介するページです。令和2年度(2021年度)の内容に基づいて各目標像の進捗状況の紹介を行っています。

目標像1【協働・環境学習】

「人・社会・歴史文化」が未来を育むまち～環境“幸”都～・・・・・・・・P.3

目標像2【生物多様性・安全】

「里山・田畑・生活環境」を継承するまち～環境“恒”都～・・・・・・・・P.5

目標像3【資源・気候変動】

「資源・エネルギー」が巡るまち～環境“康”都～・・・・・・・・P.7

目標像4【経済循環・創出】

「環境・経済の循環」が興るまち～環境“興”都～・・・・・・・・P.9

2. リーディングプロジェクトの取り組み状況・・・・ P.11

環境像・目標像の実現に向け、当面重点的に取り組む具体的行動として位置づけられた5つのリーディングプロジェクトとして位置づけています。令和3年度(2021年度)の内容に基づいて各リーディングプロジェクトの取り組み状況の紹介を行っています。

リーディングプロジェクト①・・・・・・・・・・・・・・・・P.12

次世代を育むプロジェクト

リーディングプロジェクト②・・・・・・・・・・・・・・・・P.12

精華3C（チャレンジ・クリーン・クロス）プロジェクト

リーディングプロジェクト③・・・・・・・・・・・・・・・・P.13

「今日あなたは（環境に良いことについて）何をしましたか」プロジェクト

リーディングプロジェクト④・・・・・・・・・・・・・・・・P.13

精華里地里山×子ども・町民・事業者プロジェクト

リーディングプロジェクト⑤・・・・・・・・・・・・・・・・P.14

環境への一歩とつながりを育むプロジェクト

■計画の進行管理について

精華町では、「精華町環境基本計画」を推進するため、PDCAサイクル（Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(実施)）によって毎年、活動の評価し、進行管理を行います。この進行管理の中で、「精華町環境報告書」を公表し、精華町環境推進委員会による評価と住民のみなさんからのご意見やご提案をもとに施策や事業を見直し、改善を図りながら、取り組みを進めていきます。

Ⅰ. 目標像の進捗状況

精華町環境基本計画は、行政の施策を基本としながら、住民・事業者・住民団体など多様な主体の連携・協力によって相乗効果をもたらし、総合的に推進する体制で進めています。また、取り組みの相乗的な効果を評価し共有化するため、環境像と4つの目標像を定め取り組み内容を整理し、環境像・目標像の実現に向けて大きな効果が期待される、当面重点的に取り組む具体的行動を5つのリーディングプロジェクトとして位置づけています。

この「精華町の環境」では、4つの目標像について、令和3年度(2021年度)の取り組み結果に基づき、その取り組み状況などをまとめています。また、目標像に関連する定量目標、主な施策・事業の進捗状況を紹介し、環境推進委員会の評価を報告し、それに対する町の考え方を記載しています。

●目標像とリーディングプロジェクト(当面重点的に取り組む具体的行動)の関係

		【環境像】 「環境の恵み」「人」「知恵と技術」が交わるまち～環境交都・精華町～			
		【目標像】			
		①協働・環境学習 「人・社会・歴史文化」が未来を育むまち ～環境“幸”都～	②生物多様性・安全 「里山・田畑・生活環境」を継承するまち ～環境“恒”都～	③資源・気候変動 「資源・エネルギー」が巡るまち ～環境“康”都～	④経済循環・創出 「環境・経済の循環」が興るまち ～環境“興”都～
リーディングプロジェクト	次世代を育むプロジェクト	★	○	○	★
	精華3C（チャレンジ・クリーン・クロス）プロジェクト	○	○	★	○
	「今日あなたは（環境に良いことについて）何をしましたか」プロジェクト	★	○	○	★
	精華里地里山×子ども・町民・事業者プロジェクト	○	★	○	○
	環境への一歩とつながりを育むプロジェクト	★	○	○	○

★：特に深いかかわり

目標像Ⅰ		【協働・環境学習】 「人・社会・歴史文化」が未来を育むまち～環境“幸”都～	
定量目標			
環境学習に資する町主催・後援の取り組み件数	10年後の目標値	10(件/年)	
	実績値(2021年)	6(件/年)	
	動向	目標値を下回った。	
取組実績(2021年度)	環境日記 / クールチョイス啓発 / STEP 映画会 / 環境のつどい / 学校での環境学習支援 以下は中止: 子ども議会 / 精華まなび体験教室 / 子ども祭り(舞台発表のみ実施)		
(要因分析)	新型コロナウイルス感染症拡大等によるイベント等の中止、規模縮小が影響した。		
主な施策・事業の進捗状況 ※主なもの4つ程度掲載※			
事業名	進捗状況	担当課	
(1)地域の多様な関わりの増進			
環境衛生一般 【精華町環境推進委員会及び精華環境プラットフォーム】	環境基本計画の推進に向け、環境推進委員会を2回開催。 環境プラットフォームは、新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため見送った。	環境推進課	
(2)環境学習の推進			
環境日記	町内の小学生を対象として、身近な環境に関心を持ち、地球に優しい活動に取り組んでもらうことを目的とした環境学習の一環として実施した。	環境推進課	
クールチョイス推進	環境日記と同じ、町内の小学生を対象として、地球温暖化対策を家族と一緒に考えてもらうきっかけとなるよう、小学生向けのクールチョイス冊子を配布した。	環境推進課	
環境啓発イベント 【環境のつどい】	環境日記に取り組み優秀な日記を書いた小学生に対して表彰式を実施。あわせて地球温暖化対策の講話、さらに環境工作教室を実施した。9月26日	環境推進課	
その他の実施事業			
環境対策推進【STEP 映画会】／生涯学習活動各種講座教室開催事業【子ども議会】／精華まなび体験教室／子ども祭り事業／学校での環境学習支援			
評価			
環境推進委員会の評価	※住民意見など踏まえてはここにも記載※		
今後に向けて	※最新情報や、住民等が参考となる項目についても記載※		

●取り組み内容

●クールチョイスの推進

地球温暖化対策につながる賢い選択をしようという国民運動（クールチョイス）を推進するため、小学生向けのクールチョイス冊子を作成・配布した。



また、横断幕、懸垂幕、ポスター、のぼり旗等の設置により啓発を行った。



近鉄新祝園駅前



くるりんバス内



精華町役場庁舎



精華町役場庁舎玄関

目標像2		【生物多様性・安全】 「里山・田畑・生活環境」を継承するまち～環境“恒”都～	
定量目標			
給食での地場産物の年間利用件数の割合	10年後の目標値	・保育所給食 15.0%以上 ・小学校給食 20.0%以上	
	実績値(2021 年度)	・保育所給食 ●● ・小学校給食 ●●	
	動向	●●●●	
子どもたちが里山や田畑に触れた件数	10年後の目標値	・全生徒が触れること	
	実績値(2021 年度)	●●●	
	動向	●●●	
取組実績(2021 年度)	●●●		
(要因分析)	●●●		
主な施策・事業の進捗状況 ※主なもの4つ程度掲載※			
事業名	進捗状況	担当課	
(1) 里地里山の保全と継承			
里山保全モデル事業【団体間の交流やイベントで連携「せいか里山の会」】	里山が持つ豊かな自然を保全、再生するための下草刈りなどの定例保全活動を計7回(参加人数101人)[計7回[参加人数161人]]実施した。	産業振興課	
(2) 安全・安心な環境の確保			
環境汚染対策事業	河川水質調査、あき地の適正管理の要請・除草勧告、学研地区進出企業への環境保全計画の審査や環境保全協定による立入調査を実施した。	環境推進課	
(3) 環境美化活動の推進			
道路・公園等維持管理事業【精華町クリーンパートナーによる活動】	住民と行政の協働による「クリーンパートナー」は、道路清掃や除草、植栽帯の維持管理など美化作業を通して、環境美化に対する意識の高揚、環境との共生、安全で安心なまちづくりを推進した。町内で30団体(1,590人)が活動を行っている。	建設課	
(4) 美しい景観の充実			
あき地等適正管理指導	あき地の所有者に対し、除草等の適正管理を要請・勧告等の指導を行い、住環境の保全に努めました。	環境推進課	
その他の実施事業			
健康づくり推進事業【食育の啓発推進】／農産物育成・販売推進事業／地域担い手育成総合支援事業／精華町まちをきれいにする条例の周知・啓発／きれいなまちづくり運動推進事業／都市公園維持管理事業／道路維持管理事業／農地利用最適化推進委員及び農業委員の取り組み			
評価			
環境推進委員会の評価	※住民意見など踏まえてはここにも記載※		

●取り組み内容

●せいか里山の会

里山の豊かな自然を保全し再生するため、下草刈りなどを行っています。



ほだ木の伐り出し



シイタケ菌打ち

●河川の水質検査

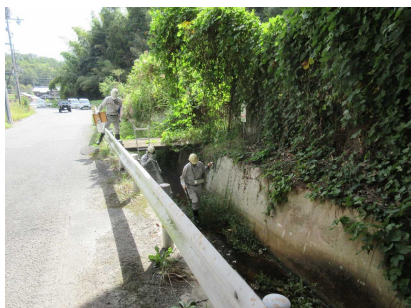
町内の河川については、毎年２回１７地点で水の調査をして、きれいな水であることを確認しています。



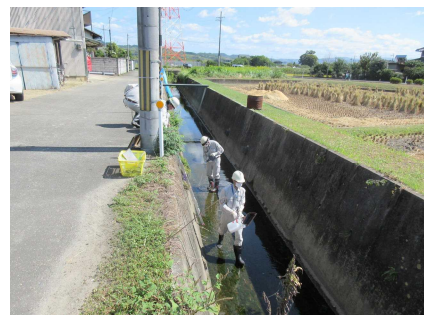
煤谷川



山田川



乾谷川



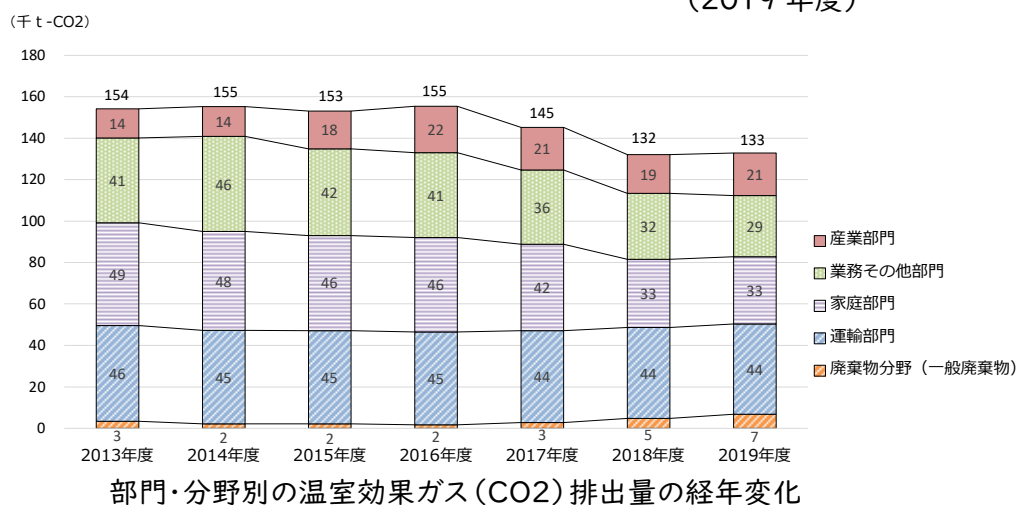
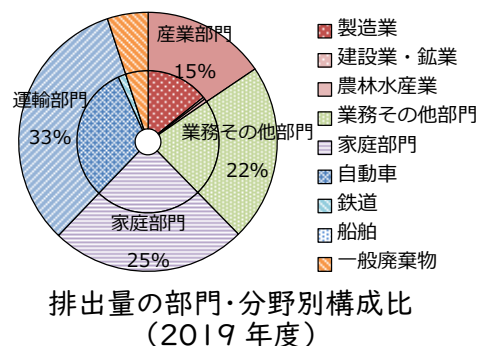
中溝川

目標像3		【資源・気候変動】 「資源・エネルギー」が巡るまち～環境“康”都～
定量目標		
町民1人が1日 に出すごみの量	10年後の目標値 ※一般廃棄物処理計画 の目標値と連動します。	平成27(2015)年度と比べて令和8(2026) 年度に1人1日あたり、ごみ総排出量で約 2.6%削減(20gの減量)
	実績値(2021年度)	0.95%増加(7.4g増) ※平成27年度 776.6g/人・日
	動向	平成27年度比では、平成29年度までは減少 でしたが、平成30年度に増加に転じ、令和2 年度以降は再び減少傾向である。
資源・気候変動に 関する情報発信 (うち、再生可能エネルギ ー等に関する情報発信)	10年後の目標値	・20(件/年)(うち、5(件/年))
	実績値(2021年度)	・54(件/年)(うち、15(件/年))
	動向	目標値を上回った。
取組実績 (2021年度)	○ごみの量について:家庭ごみの減量を目的に「食品ロス削減キャン ペーン」として、町内公共施設や小売店などで啓発を実施。 ○情報発信件数について:広報誌への掲載は33件(うち、7件)。ホー ムページへの掲載は21件(うち、8件)。	
(要因分析)	○ごみの量について:「環境の森センター・きづがわ」が本格稼働し、 より正確にごみの排出量が把握可能となった。また、小型のプラスチ ックごみ等の排出方法を変更したことに伴い、プラスチックは燃やす ごみへのなどの勘違いが増え、燃やすごみの排出量が増加した。 ○新型コロナウイルス感染症拡大等により、家庭での食事機会が増え る等、事業系から家庭系へ排出区分が変わっている。 ○情報発信件数については、資源関係の情報発信件数は例年多い が、エネルギー関係は内容の充実が必要である。	
主な施策・事業の進捗状況 ※主なもの4つ程度掲載※ ※[]内は前年度実績		
事業名	進捗状況	担当課
(1)地球温暖化防止の推進と気候変動影響への適応		
自立型再生可能エ ネルギー導入促進 事業	住宅におけるエネルギー供給の自立化の促進のため、住宅 用太陽光発電設備及び住宅用蓄電設備の同時設置への 補助を実施。京都府との連携による普及啓発に努めた。	環境推進課
庁舎維持管理事業 【KES環境マネジメ ントシステムによる 環境改善活動】	環境改善活動において、ガス使用量に対する二酸化炭素発 生量:● kg[47,955 kg]で対前年度比● kgの増加、ま た、電気使用量に対する二酸化炭素発生量:● kg [619,859 kg]で対前年度比●kgの増加となった。	総務課
(2)循環型社会の構築		
ごみ収集処理 【ごみ減量化におけ た取り組み】	減量化に向け「食品ロス」の削減、生ごみの水切り、「その他 のリサイクルできる紙」の分別の3点を重点的に推進した。 また、廃棄物リサイクルに向け、9種類の分別収集を実施。	環境推進課

事業名	進捗状況	担当課
廃棄物減量・リサイクル推進事業 【ごみ減量・リサイクルの取り組み】	「ごみの収集日程表」及び「ごみの分別辞典」を作成し、各戸配布した。また、快適な生活環境を確保するため、町内各種団体の協力を得てクリーン・リサイクル運動を展開した。 35 自治会、10,454 名参加[31 自治会、9,541 名参加]	環境推進課
(3) 環境に配慮した交通手段の充実		
コミュニティバス運行事業 【公共交通の利用促進】	高齢者や交通弱者の足として、公益性の高い施設を結び、地域交流の促進、福祉増進を目的に、コミュニティバス運行事業を実施し、少しでも多くの人にご利用いただけるよう、運行形態等について、学識経験者や地域住民とともに検討を行い公共交通の利用促進に取り組んだ。	都市整備課
その他の実施事業		
公用車管理事業【公用車に低公害車を導入】／環境汚染対策事業【みどりのカーテン】		
評価		
環境推進委員会の評価	※住民意見など踏まえてはここにも記載※	
今後に向けて	※最新情報や、住民等が参考となる項目についても記載※	

●コラム:精華町の温室効果ガス排出量

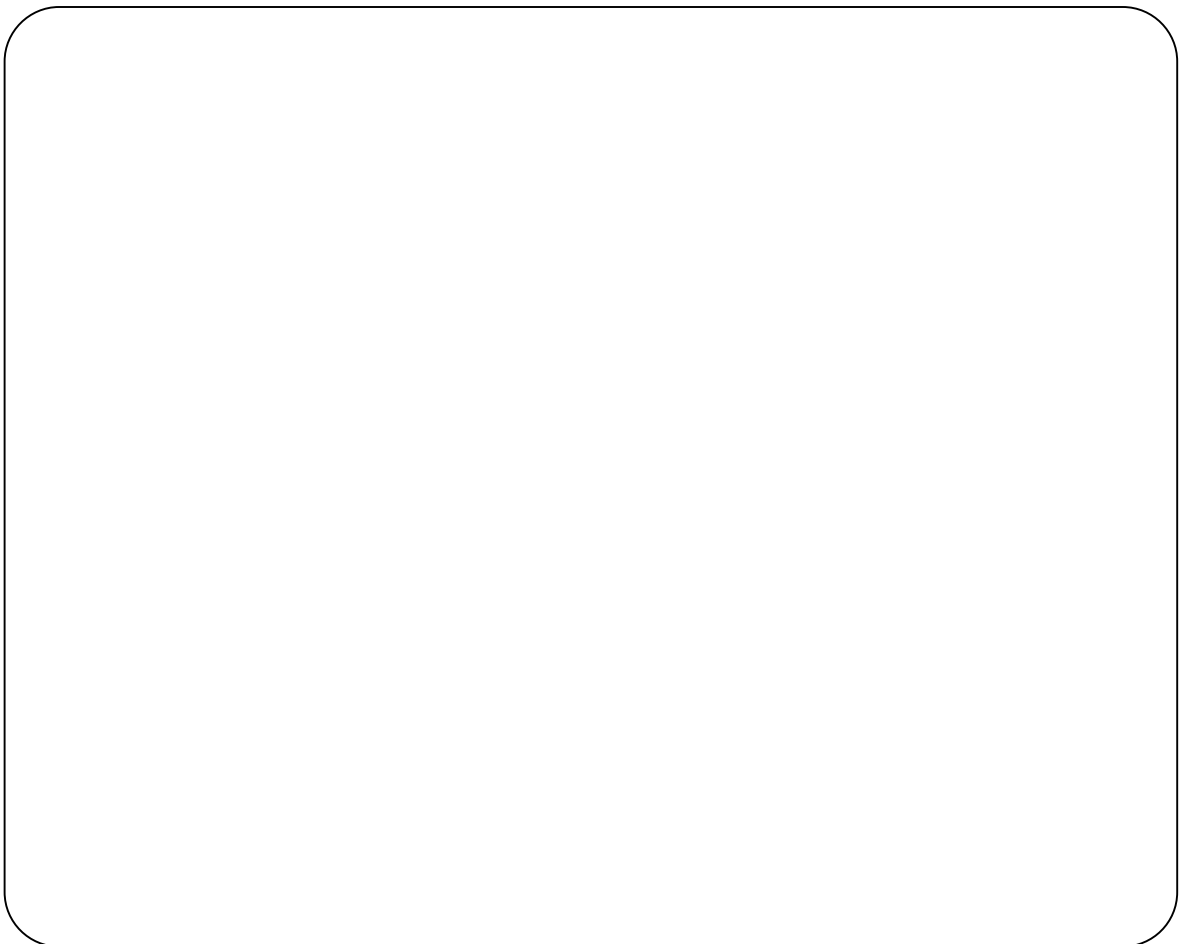
- ・精華町では、運輸部門からの排出が最も多く、全体の 33% (44 千 tCO₂/年) を占めます。そのほとんど(95%)を自動車からの排出となります。
- ・次いで、家庭部門、業務その他部門と続きます。
- ・2016(平成 28)年度までは横ばい傾向でしたが、2017(平成 29)年度以降は減少傾向となっています。



グラフ出所: 環境省「自治体排出量カルテ」2022 年 7 月現在より作成

目標像4		【経済循環・創出】 「環境・経済の循環」が興るまち～環境“興”都～	
定量目標			
HPや広報等における企業の環境に関する取組情報の発信件数	10年後の目標値	・5(件/年)	
	実績値(2021年度)	・0件(件/年)	
	動向	目標値を下回った。	
取組実績(2021年度)	令和4年度からホームページや広報等に企業の環境に関する取組情報を掲載するため、令和3年度は準備をした。		
(要因分析)	企業との連携を深め、環境に関する取組情報の収集が必要。		
主な施策・事業の進捗状況 ※主なもの4つ程度掲載※			
事業名	進捗状況		担当課
(1)関係機関との連携及び事業者の取り組み促進			
学研都市建設推進・活性化事業 【持続可能性社会の実現に向けた取り組み】	京都・けいはんなからスマートシティを共創・発信し、持続可能な社会の実現に貢献するため、京都スマートシティエキスポを開催している。環境・エネルギー、交通、健康などの分野とICTの融合による「『超快適』スマート社会」の創出は、新たな産業の創出に寄与すると考えられている。本町では、ICTを基盤とした産業に関する企業や研究者、住民などが多数集い、交流を図るこの京都スマートシティエキスポの運営に参画し、関係諸団体と連携して事業の進展を図った。		企画調整課
企業誘致促進事業 【企業が続々操業を開始】	地域経済の持続的発展と職住近接のまちづくりを具体化するため、また、町のまちづくりの柱の一つである学研都市の発展・熟成を推進するために、産業集積(企業誘致)及び立地企業へのアフターフォローを実施した。 (学研都市では「けいはんな学研都市精華地区まちづくり協議会」等による地域への環境貢献の取り組みが進んでおり、これらの取り組みへの参加企業増加が期待される。)		産業振興課
特産品開発推進支援事業	【特産品開発連絡協議会を支援、特産品開発を推進】 ブラックベリージャムや人参ゼリー等の新商品を開発した。 【地域資源総合管理センター「華工房」】 地域農産物による地域特産品の開発研究や地域農業者等の交流研修の実施に寄与することを目的に設置しており、「地域の特産品開発」、「都市住民との交流」などを通じた取り組みを実施した。		産業推進課
その他の実施事業			
-			
評価			
環境推進委員会の評価	※住民意見など踏まえてはここにも記載※		
今後に向けて	※最新情報や、住民等が参考となる項目についても記載※		

● 取り組み内容



2. リーディングプロジェクトの取り組み状況

精華町の環境像・目標像の実現に向けて大きな効果が期待される、総合的かつ横断的な推進が必要な当面重点的に取り組む具体的行動を5つのリーディングプロジェクトとして位置づけ、環境基本計画全体を実現に向けてリードします。

リーディングプロジェクトを進める中で、令和3年度（2021年度）は、③「今日あなたは（環境に良いことについて）何をしましたか」プロジェクトを推進するため、クールチョイス（COOL CHOICE）の普及啓発を実施しました。

5つのリーディングプロジェクト

① 次世代を育むプロジェクト

これまでの環境学習の取り組みを活かし、伸ばす取り組みを実施する。

また、事業者と環境学習とのつながり創出、地域内の事業者同士が知り合ったり、事業者と地域や地域団体が出会い、新たな活動の創出を生み出す場づくりを行う。

② 精華3C（チャレンジ・クリーン・クロス）プロジェクト

地域のすべての人が、地域の環境を守り、未来を大きく育むまちを実現するために、まちを美しくする活動を進める。

また、環境に触れるきっかけとして、テーマを決めて取り組むものとする。

③「今日あなたは（環境に良いことについて）何をしましたか」プロジェクト

地域のすべての人が、環境に関わる活動の中で充実した体験・経験を得て、自主的な環境活動を進める。地域の事業者の方をはじめとして、地域の方が、どのような活動をしているのか、見える化する。

④ 精華里地里山×子ども・町民・事業者プロジェクト

地域の里地里山の保全・活用に関する取り組みの推進及びそれらの魅力・文化を町民へ伝えていくための活動を進める。

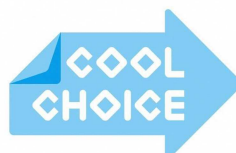
⑤ 環境への一歩とつながりを育むプロジェクト

地域のすべての人が、地域の環境を守り育てるまちづくりを実現するために、多様な主体が連携可能な仕組みづくりを行う。

令和3年度（2021年度）の話題

クールチョイスの推進

※クールチョイスとは、地球温暖化対策につながる日常生活の中で「賢い選択」をしようという国民運動です。



未来の
ために、
いま選ぼう。

（③「今日あなたは（環境に良いことについて）何をしましたか」プロジェクト）

町広報誌・ホームページの利用や、イベント等を活用し啓発を行うとともに、町役場庁舎に懸垂幕、新祝園駅前に横断幕を設置するなどして、クールチョイスを推進しました。

【参考】リーディングプロジェクトに関連した取り組み（令和3年度行政評価等より）

リーディングプロジェクトの広範囲な分野にまたがる取り組みを総合的に推進するためには、従来からの取り組みを踏まえ、社会情勢などを考慮し、その時々での動向を察知して、進めていくことが大切です。そこで、ここでは各プロジェクトに関連した施策等について紹介します。

① 次世代を育むプロジェクト

【トピックス】

● STEP 映画会

精華町環境ネットワーク会議（STEP）と共催し、STEP 映画会において、子ども向けに環境省が製作した地球温暖化の意識啓発アニメ（「地球との約束」と「私たちの未来」）を上映し、地球温暖化対策に資する行動変容を促しました。

● 環境のつどい

優秀な環境日記を書かれた子どもたちへの表彰式と、京都府地球温暖化防止活動センターの協力で、地球温暖化対策（クールチョイス）の講話や環境工作教室（風力発電）を実施しました。



② 精華3C（チャレンジ・クリーン・クロス）プロジェクト

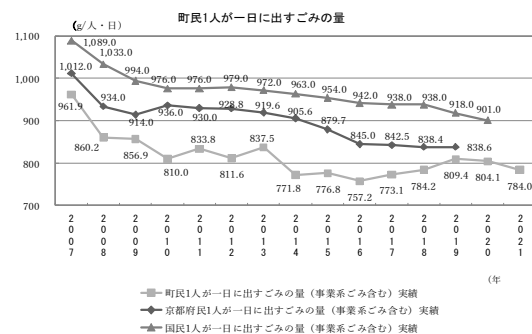
【トピックス】

● クリーン・リサイクル推進

地域の道路・公園などに散乱しているごみを住民自らが清掃する活動。開橋周辺で実施した重点活動は新たにコロナウイルス感染症拡大防止のため、前年度に引き続き中止。（前々年度は各種団体などから約60名が参加）

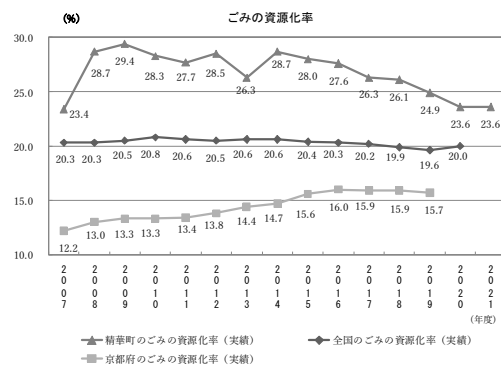
● まちをきれいにする条例

「ポイ捨て」「ふん放置」「落書き」を禁止した精華町まちをきれいにする条例を周知し、その効果を図るため、定点で観測及びごみ拾いを実施しました。また、放置された場所に、チョークを使用し、日にち等を記載し、抑止力の向上に努めています。



●循環型社会形成

古紙回収事業、生ごみ減量事業、廃食用油回収事業、使用済み小型家電回収事業を実施。回収後、リサイクル事業者への引き渡しを行い、ごみ減量と環境負荷の低減に努めました。また、廃食用油、使用済み小型家電の拠点回収場所について、自治会や事業者の協力を得ながら、増設に努めました。

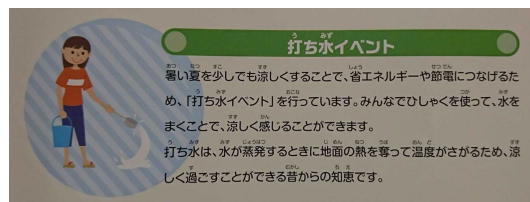


③「今日あなたは(環境に良いことについて)何をしましたか」プロジェクト

【トピックス】

●精華町商工会青年部との協働による打ち水イベント

省エネルギー・節電を呼びかけるため、せいかガーデンシティで打ち水イベントを実施し、子どもたちに打ち水の効果を体験してもらっていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、前々年度から中止。その代替りとして、広報誌等で「打ち水」の効果や利用を呼びかけ、啓発しました。



●環境日記の実施

環境日記の取り組みは、身近な環境に関心を持ち、地球にやさしい活動に取り組んでいただくことを目的とした環境学習の一環として実施しており、6月から8月の間で8週間毎日続けて日記を綴る取り組みです。

令和3年度は、全国コンテストで学校賞として優秀賞1校、また個人では13名が表彰されました。

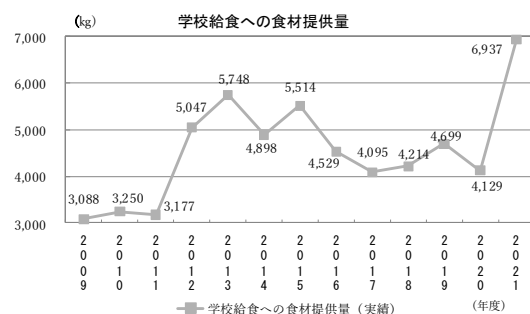


④ 精華里地里山×子ども・町民・事業者プロジェクト

【トピックス】

●学校給食への地元産野菜の提供

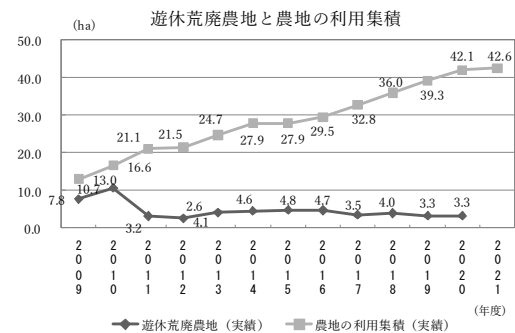
新鮮で安全・安心な農産物を子どもたちに提供できるよう、学校給食への地元産野菜の納入を促進しました。



●遊休地解消

農地の集約化を推進するため、国による農地中間管理事業に取り組み、活用を呼びかけました。農地利用集積などにより、農地の有効活用を図り遊休荒廃農地面積を抑制することができました。

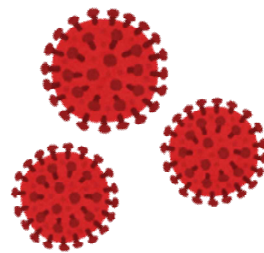
※農地利用集積とは、利用されていない農地を第三者に貸すなどして、活用された農地の面積



⑤ 環境への一歩とつながりを育むプロジェクト

【トピックス】

●令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため、特に環境プラットフォームを開催できなかった。また、イベント等の中止や規模縮小により、多様な主体との連携を図ることができなかった。



精華町の環境

令和3年度(2021年度)

発行: 令和〇年〇月

精華町健康福祉環境部環境推進課

〒619-0285

京都府相楽郡精華町大字南稲八妻小字北尻 70 番地

電話: 0774-95-1925

FAX: 0774-95-3973

URL: <https://www.town.seika.kyoto.jp>